

# 日経パソコンEdu

日経パソコンEduは、大学や専門学校、高等学校などの教育機関向けコンテンツ提供サービスです。

日経パソコンに掲載した記事をはじめとして、多彩なコンテンツをPDF形式で提供します。  
学校や自宅のパソコン、タブレット・スマートフォンなど、さまざまな場所から多様な端末で利用できます。

教職員／  
学生・生徒に役立つ  
**5つの  
特徴**

豊富な  
コンテンツが  
読み放題

最新技術や  
新語の解説も  
即座に

目的別に  
順に学べる  
学習コース

ミニテスト  
で学習の成果  
を確認

コンテンツを  
基に独自教材  
が作れる

コンテンツの全文検索が可能

日経パソコンEdu

教本で学ぶ | 記事で学ぶ | おすすめコース | ミニテスト | ログアウト

新着 & 更新情報

- 「セキュリティ事件簿」更新 (5/27)
- 「Windows 8.1の勘所」更新 (5/27)
- 「Wordの文書作成」更新 (5/19)
- 「Excelの書式設定」更新 (5/16)
- 「ネットは裏でつながる」追加 (5/15)

ニュース & REPORT

- 格安スマホは初心者にも使える?
- ポケットルーターが増えてきた
- スマホが通話品質向上や高速化
- 危ないWi-Fiからデータを守る
- 将棋電王戦はソフトが圧勝

60分で学ぶ Word・Excel・PowerPoint

短時間で一通りのスキルが身に付く「60分で学ぶ」シリーズの提供を始めました。図に合わせて作業していくだけで目的の文書が作れます。Webブラウザのみで手軽に見られる講座です。

ITパスポート 合格講座

書籍1冊丸ごと収録!  
ITパスポート 合格講座

お薦めのコンテンツ

速習! Office 2013

PDF形式のコンテンツが読める

情報技術の最新動向を知ろう ニュース & REPORT

- 「格安スマホ」は初心者にも使える? (2014年5月26日号)
- “ポケットルーター”が増えてきた (2014年5月26日号)
- スマホが通話品質向上や高速化に対応 (2014年5月26日号)
- 「危ないWi-Fi」からデータを守る (2014年5月12日号)

ニュースやトレンド解説を随時追加

速習! Office 2013

2013年2月に発表されたMicrosoft Officeの「2013」は、2013年2月10日にクラウド連携機能やタッチ操作への対応が強化されています。2013の仕様が通じて、2013の特徴を学びます。(最終更新日: 2014年5月12日)

【第1回】「サインイン」によるクラウド連携機能を理解

「ファイル」タブを開くと「サインイン」ボタンが表示されます。サインインすると、クラウド上のファイルやアプリにアクセスできるようになります。

【第2回】新しい「Word」の便利な編集・閲覧機能

起動時にテンプレート一覧/デザインタブを新規/既存のレイアウトが簡単に「View」の表示や移動が可能。PDFをWordに変換・印刷・電子書籍のように活用。

【第3回】新しい「Excel」の手軽なデータ分析とグラフ作成機能

デザインタブの「ピボット」は、ワークブック上で可視化/グラフの作成方法を簡単に「データの型別」を自動的に「ピボット」に変換。

「サインイン」ボタンをクリックすると、サインイン画面が表示されます。

サインインボタンをクリックすることで、サインイン画面が表示されます。

PDF形式のコンテンツが読める

## 日経パソコンとは

創刊30周年、国内で最も歴史あるIT情報総合誌(月2回発行)。個人が情報機器やネットサービスを使いこなす「パーソナルコンピューティング」に関する幅広い情報を掲載しています。



## 授業のテキストに

- 大学での情報教育
- 高等学校での教科「情報」
- 中学校での「技術・家庭」など



## 自習用の教材に

- 新入生向け補習教材
- 資格取得のための学習
- 就職活動の準備 など

## 特徴

# 豊富なコンテンツが読み放題

ソフトやサービスの使いこなしから、セキュリティや著作権の基礎知識、ニュースやトレンドの解説、就職活動対策まで、ITに関するさまざまな分野のコンテンツを用意しています。日経パソコンに掲載した記事の中から厳選・整理して提供するほか、日経パソコンEdu独自のコンテンツもあります。さらに、デジタルやITに関する用語約5600語の解説が読めます。

分野	主な内容
Officeソフト入門&活用	Word/Excel/PowerPointの基本操作、各種の文書作成法、高度な機能の活用
Windowsを使いこなす	Windows 7/8/8.1の基本操作、主要な機能の使い方
ネットサービス活用術	SNS、ネット検索、メールなどの使いこなし方
実用ソフト大全	PDFやWebブラウザの活用、デジカメ撮影術、写真の加工法、データのバックアップ方法
スマートフォン/タブレット	スマートフォンやタブレットの基本、応用的な活用法

分野	主な内容
セキュリティの基礎	ウイルスやネット詐欺などの脅威を理解し、対策法を知る
情報倫理・著作権を学ぶ	著作権などの法律の基礎知識、コミュニケーションの作法
資格試験対策	ITパスポート試験、MOS試験などの傾向と対策
ITの技術を知る	ハードウェアとソフトウェアの仕組み、インターネットの技術
就職活動に備える	就活サイトの歩き方、就活メールの書き方
デジタル・IT関連の用語	デジタル、ITにまつわる用語約5600語の解説

## 特徴

# 最新技術や新語の解説も即座に



ITの技術やサービスは、日々進化しています。日経パソコンEduは、クラウドサービスの利点を生かし、コンテンツを随時更新・追加。紙の教科書には載っていない最近の話題も詳しく解説します。旬な話題についていち早く理解を深められるため、就職活動における筆記試験や面接試験対策にも役立ちます。

## 特徴

# 目的別に順に学べる学習コース

さまざまなテーマに基づいて役立つコンテンツの一覧を紹介する「おすすめコース」を用意しています。「Officeの操作を学ぶ」「情報倫理を身に付ける」「就職活動に備える」などの具体的なテーマを設定し、学んでおきたい順にコンテンツを紹介します。順番に学習すれば、特定のテーマに関して効率良く学習を進められます。

### テーマ例 1 Excelの操作スキルを身に付ける



### テーマ例 2 情報倫理を身に付ける



### テーマ例 3 技術的な理解を深める





## ミニテストで学習の成果を確認

学習の成果は、ミニテストでチェックできます。テストは選択式。回答してボタンを押すとすぐに、採点結果が表示されます。

自分が受けたミニテストの最新の結果は、日経パソコンEduのサーバーに保存され、各ユーザーごとに用意される「マイページ」から見られます。学習の成果を確認するのに役立ちます。

1. コンピューターウイルスに関する次の記述のうち、間違っているものはどれでしょうか？

- ① WordやExcelのファイルを開いただけで、ウイルスに感染するケースがあり得る
- ② PDFファイルを開くだけで、ウイルスに感染するケースはない
- ③ ウイルス対策ソフトを導入していても、ウイルスに感染しないという保証はない
- ④ Android搭載スマートフォンを対象にしたウイルスも存在

2. 一般に「標的型攻撃」と呼ばれる行為について、正しい説明はどれか？

- ① インターネット上の掲示板サイトにおいて、特定の書き込みを繰り返す
- ② 特定のWebサイトを狙って大量のパソコンからアクセス
- ③ SNSにおいて、特定のユーザーを標的にした悪意のある書き込みを行う
- ④ 特定の企業や団体を狙って、その従業員などにウイルスを送信する

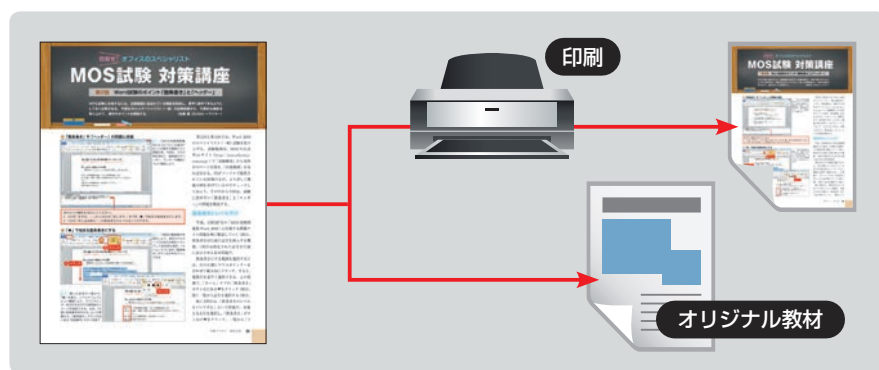
**ミニテストの例**

**ミニテストの結果一覧**

何回もチャレンジしたテストは、最後の結果が記録されています。一覧の上の方が最新で、下の方が古い結果です。「テストの名称」を押すと元のテストを参照できます。ただし、テストの更新により内容が変わっていたり、削除されていたりする場合があります。

テスト名称	ジャンル	点数	最終テスト日時
基本から分かる情報リテラシー	70	2013年4月1日 2時49分	
基本を確認 情報セキュリティ(1)	セキヨウティ	100	2013年4月1日 2時49分

## コンテンツを基に独自教材が作れる



コンテンツは自分のパソコンやタブレット、スマートフォンに保存できるため、インターネットにつながってなくても読み返せます。

授業を受ける学生・生徒全員が日経パソコンEduへのアクセス権（ライセンス）を持っている場合は、先生がコンテンツを印刷して教材として配布できるほか、コンテンツを基にオリジナル教材やテスト問題が作れます。

## 連携書籍で学習効果を高める



### 基本から分かる情報リテラシー

- ページ数：84ページ
- 判型：B5判
- 発行：2013年2月
- 定価：本体580円+税



### 最新「情報」ハンドブック

- ページ数：100ページ
- 判型：B5判
- 発行：2013年3月
- 定価：本体580円+税



「基本から分かる情報リテラシー」の内容例。図版を豊富に用いながら、要点を分かりやすく解説しています。

### 日経パソコンEdu連携書籍

日経パソコンEduの学習効果をさらに高めるために、2種類の連携書籍を用意しています。いずれの書籍も、基本的な内容をコンパクトにまとめています。基礎を書籍で学び、応用学習を日経パソコンEduで、という使い方ができます。なお、連携書籍の内容は日経パソコンEduの中にも掲載しています。

日経パソコンEduには、書籍と連携した専用のページを設けています。書籍の各パートごとに、関連コンテンツを集約しています。応用学習に役立つコンテンツへすぐにアクセスできるため、効率良く学べます。

### 書籍と連動したページを用意

**日経パソコンEduで学ぶ**

**ウイルスに備える**

- ① ウイルスは、さまざまな経路で我々のパソコンやスマートフォンに侵入する
- ② ウイルスには多くの種類がある。最近でも、新種のウイルスが相次いでいる
- ③ ウイルス被害が拡大しているのは、ウイルスの開発が今やビジネス化しているため
- ④ ウイルスから身を守るためには、複合的な対策が必要になる

最新登場したウイルスを1つ挙げてみる

**書籍**

各章に対応したページを用意

**ウイルスに備える**

各項目では以下の記事が参考になります。

- ① ウイルスは、さまざまな経路で我々のパソコンやスマートフォンに侵入する
- ② ウイルスには多くの種類がある。最近でも、新種のウイルスが相次いでいる
- ③ ウイルス被害が拡大しているのは、ウイルスの開発が今やビジネス化しているため
- ④ ウイルスから身を守るためには、複合的な対策が必要になる

**日経パソコンEdu**

発展学習に役立つコンテンツの一覧

## 応用的な使い方

### eラーニングとの連携

熊本大学

資料全文に関するフィードバック！  
表計算ソフトで使われる関数の問題、情報基礎Aの学習にもあります。また、Web上で閲覧するとわかります。  
（解説書p.182-183「さまざまな関数」を参照）

ITパスポート試験対策講座 第8回 表計算ソフトの問題は独自の表現に注意

シングルサインオンでスムーズにアクセス



日経パソコンEduは、さまざまな応用的な使い方ができます。その一つが、大学内の学習システムとの連携。熊本大学はeラーニングシステムから日経パソコンEduのコンテンツにリンクを張り、スムーズに応用学習に取り組めるようにしました。

ミニテスト機能を使って、講義への出欠や学習の進捗状況を管理することも可能です。学生のミニテストの結果を教員が一括して集計できる機能も用意しています。

### 集計するクラスとミニテストの確認

### 出欠・進捗管理

以下のクラス、ミニテストを集計します。

クラス: class1

テスト名称	ジャンル	テスト掲載日	ミニテストコード
基本を確認 表計算ソフト Excel(1)	Office/ソフト	2013年3月1日	13030110101
基本を確認 表計算ソフト Excel(2)	Office/ソフト	2013年4月1日	13040110101
基本を確認 表計算ソフト Excel(3)	Office/ソフト	2013年5月1日	13050110101
基本を確認 表計算ソフト Excel(4)	Office/ソフト	2013年6月1日	13060110101
基本を確認 表計算ソフト Excel(5)	Office/ソフト	2013年7月1日	13070110101

集計する

ミニテスト結果を一括して集計

※画面のデザインや内容は変わる可能性があります

## 導入形態と価格

教育機関で採用される場合は、1ライセンス（アクセス権）当たり1年間で1800円＋税です。利用者（学生・生徒）1人につき1つのライセンスが必要です。

自宅でICT活用スキルを向上させたい方など、個人の方の利用も可能です。価格は、1年間で6000円＋税です。

### 教育機関で利用する場合



教育機関が一括購入



学生・生徒が各自購入

#### アクセス権のみ購入

教育機関が一括購入する場合は、クラス／学年単位など、利用者数分のアクセス権をまとめて提供します。学生・生徒が、教材として購入することも可能です。

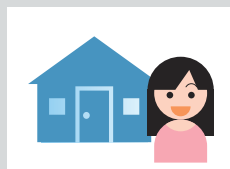
#### アクセス権と連携書籍のセット購入

アクセス権と書籍のセット商品です。アクセス権のみの場合と同様、教育機関が一括購入することも、学生・生徒が、教材として購入することも可能です。

価格: アクセス権 年額1800円＋税  
(1ライセンス当たり)

連携書籍 本体580円＋税から  
(組み合わせる書籍によりさまざまな構成が可能)

### 個人で利用する場合



個人で契約

ICTスキルを向上させたいビジネスパーソンなど、個人の方が自宅などから利用する形態です。Webサイトからお申し込みください。

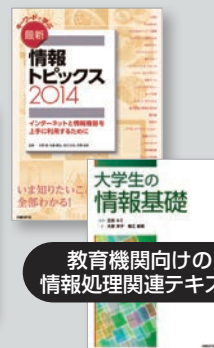
価格: 年額6000円＋税

※このほか、大学生協などが販売するパソコンや周辺機器に日経パソコンEduのアクセス権が付属する場合があります。

### 書籍との組み合わせ



日経パソコンEdu  
連携書籍



教育機関向けの  
情報処理関連テキスト



各種資格取得のための  
解説書・問題集

日経パソコンEduは、書籍と組み合わせで導入できます。日経パソコンEdu連携書籍のほか、資格取得のための解説書や問題集、情報処理関連の教科書など、目的に応じてさまざまな書籍を選べます。

日経パソコンEduの  
お問い合わせ先

電話: 03-6811-8087 (日経BPマーケティング チャンネル営業部)

Webサイト: <http://pc.nikkeibp.co.jp/npc/pcedu/>

※末尾にある「お問い合わせ」フォームからご連絡ください